

第58回南木倶楽部全国勉強会（第143回大阪読書研究会） 南木隆治(みなきたかはる)

情況と本質 『近未来—日本の可能性』～現下の状況と我が国の目覚め～

- A 今回は、イーロン・マスク氏も、この世界は「仮想現実」であると考えていることから話を始める。彼は太陽系で人間が住んでいるのが地球だけであることはおかしいと考えていて、火星には必ずかなりの人間が住むコロニーができると考えている。人類は宇宙へ出かけねばならないのに、人口減少は間違っていると考えている。日本人が減って、日本文明が無くなる事などあってはならないと言っている。賛成である。

(以下は、関連する動画。最近はどんどん増えている)

Yahoo!検索（動画）

この世界が仮想現実であることの動画



この世界が仮想現実であることを示す証明式

YouTube - トップランキング

2017/04/01



この世界が『仮想現実』であることを証明

YouTube - 小泉耕二の未来大学 - DIGITIDE

2020/06/06



この世界がすでに「仮想現実」である可能性 | WIRED.jp

YouTube - WIRED.jp

2022/04/12

- B 物事は、凡て深く関連していて、その中に決定的な質的変化が起きることがある。マスク氏は「テスラモーター社」の創業者で、「スペースエックス社」の創業者でもあるが、決定的な仕事は後者である。
- C 国際宇宙ステーションに人を運搬するのに、ロシアの旧式の「ソユーズ」ロケットしか使えなかった時期には、現在のような、米口の軍事的対立は起きる可能性はなかった。
- D 「スペースX」社のスペースシャトルが実用化されて、ソユーズは必要なくなった。そしてこの時、米口関係に本質的変化が起きた。なお、物資の運搬は、日本のH2ロケットが主体。
- E 今回の「ウクライナ戦争」は必ずNATO側の勝利に終わるが、イーロン・マスク氏の果たした役割は大きい。全地球のあらゆる場所が、直接スマホに繋がるような、（もちろん簡単な中継アンテナは必要だが）数千の人工衛星をすでに「スペースX」社は打ち上げており、ロシア軍の動きは、リアルタイムで宇宙から監視されている。現代の戦争は、軍隊だけでなく、「民間」の技術を総合した、総力戦である。国が戦うのは半分で、あとの半分は、個々人や、企業が、ボランティア的に参戦する事になる。情報戦は、個々人も戦える。チャイナが考える、国家が仕掛ける「超限戦」よりも、アメリカの、個々人が参戦する「超限戦」の方が多分強い。永遠に負ける事なく、誰かが戦い続ける。
- F 2月24日以前と、以後は、世界は違った歴史時間に入った。日本がよって立つ77年間の、戦後世界秩序はすべて終わったのだと覚悟しなければならない。我が国はロシアと「戦争中」である。ロシアは北海道の領有権まで主張。過去77年間「平和条約」を結んでいないのだから、本当だったら、国後、択捉どころか、千島全島、カムチャッカ迄我が国が占領しても、我が国に大義はある。
- G 再度、この世界がコンピューターの中で、仮想現実だとすると（スーパーコンピューターは1秒に数兆回の計算ができて、という事はその計算によって表現する世界を、1秒に数兆回書き換えるわけだが、もしこの宇宙が仮想現実だとすると、そのまた数兆倍のスピードで現実は書き換えられている。神の世界だと言っても良い。最新の宇宙物理学、量子力学は、世界は神が設計して、今も動かしていると考える「信仰の世

界」とほとんど同じである。) 仮想現実の世界では、観察されていない現実は、実は存在しない。「神から与

えられたもの以外何も存在しない」と考えても同じ。「世界認識」は近代の「唯物論」の時代から、逆にこの世界は、人間をはるかに超えた存在によって設計され、コントロールされていると考える、『信仰』の世界に戻る。これは人類の王道であり、個々人が身の処し方を考えるときは、「唯物論」以前の世界観、古代からの普遍的な人間の生き方を勉強したほうが良い。

H 世界史年表を見て、子供心に、日本だけ違うのは何故、と思わなかったか？日本だけが一本の線。

もしこの世界が、人間原理で設計された「仮想現実」だとすれば、日本だけ、特別の使命がある事は一目瞭然。偶然ではない。「八百万の神々」が導き給う国であると思っても同じこと。

I 「ウクライナ危機」など、我が国の姿勢一つで、初めから起きなかった事は自明。、

① 現在は『世界戦国時代』であり、誰が「徳川家康」になるかは決まっていない。これを基本認識にしなければならない。日本人はもうすぐ目覚め、日本が徳川家康になる。南木はそれが日本の使命だと確信している。

② 天長節2月23日の翌日の、24日に、ロシアがウクライナに侵攻し、一挙に国際情勢は激動期に入った。

ウクライナは、核武装を解き、兵力を大幅削減して、日本以上の非武装国家になった顛末がこれだ。グレンコ・アンドリー、ナザレンコ・アンドリー、両氏のいう事は正しかった。

③ 「北朝鮮」は、早く我が国が目覚めることを願って、ミサイルを撃ってくれている。我が国が強国になってくれないので、拉致被害者をいまだに返せない。平和条約を結べる状態になっていない。早く核武装してくれと思っている。

日本が核武装してあげなければ、北が核を持ったままの半島統一は国際的に許されるはずがない。

北朝鮮は、我が国が核武装するように、核武装してくれたのだと思っても良い。

④ 日米同盟健在の上で、「日朝平和友好条約」が締結された瞬間に、韓国の存在理由がなくなる。

⑤ チャイナが、ロシアの「特別軍事作戦」と同じことができる法的根拠を整えた。これで台湾侵略は「戦争」ではなく、「軍隊の戦争以外の軍事行動」となった。ウクライナが早期停戦すれば、来年は「東アジア」が戦場になる。それを防ぐのはわが国の抑止力だ。早く、に英国、もしくは米国の原子力潜水艦の核シェアリングを。

⑥ 東京都知事、「太陽光パネル」。橋下徹市長時代に、大阪咲洲の太陽光パネル発電所。「上海電力」山口敬之氏

⑦ 『原子力発電所の再稼働が解決策。』

⑧ 日本維新の会は正念場。青柳代議士のような立派な質問(核武装)もいれば、鈴木宗男氏もいる。

政府は言えないから、閣外の自民、維新、国民民主、その他、野党がもっと核武装論を言うべき。『日本維新の会』は、丸山穂高氏に申し訳なかったと謝るべき。

⑨ 選挙「参政党」はじめ、保守系諸政党には頑張ってもらいたい。ただ、これは「維新」も同じだが、

⑩ 南木が何度も言っているとおり、「維新」という政党は改革政党であって、国家論を持っていない。大阪では、自民党が共産党と相乗りするような状態だったから、自民より右に出た維新が大きく伸長した。、「国政政党」は国家論なくしては、その勢力は、勢いだけでは結局崩壊する。源平の合戦から現在まで、例外はない。

⑪ 「フジ住宅裁判」は、最高裁において我が国の司法権が正常に機能するかどうか、極めて重要な段階に来ている。

「フジ住宅裁判」と「ウクライナ戦争」。大阪地裁、高裁判決は、「戦時」を一切想定していない。

書店に「ウクライナ、ロシアコーナー」がない。なぜか？

⑫ 「ブルーリボン訴訟」 国側との事実認否をめぐって。次回期日 **9月16日(金)後3時30分 (第8回口頭弁論)**

⑬ 「愛知トリエンナーレ裁判」名古屋になった。第一回期日は8月10日(水)

⑭ 西暦2040年、我々は日本を完全に再興しおわっており『紀元2700年祭』を盛大に挙行せねばならない。

⑮ 日英同盟復活は歴史の必然。カナダ人、オーストラリア人たちは何を望むか？

⑯ ロシア連邦崩壊後、国連の常任理事国はなる？ チャイナ共産党崩壊後、国連常任理事国にチャイナの後継国家が就任する事はあってはならない。東アジアの常任理事国は我が国でなければならない。

⑰ アメリカの『因果応報』はこれから。地霊。カリフォルニア。多言語。「銃、病原菌、鉄」。

⑱ アメリカが弱る前に、準備を全部整える事。合衆国の崩壊があるときは「自己崩壊」しかない。

⑲ 当面は円安で良い。いずれ1ドル70円まで復活は必然。そして永続的に、円高は株高の「内需」時代を回復すべき。(以上) (参考図書は別紙)